

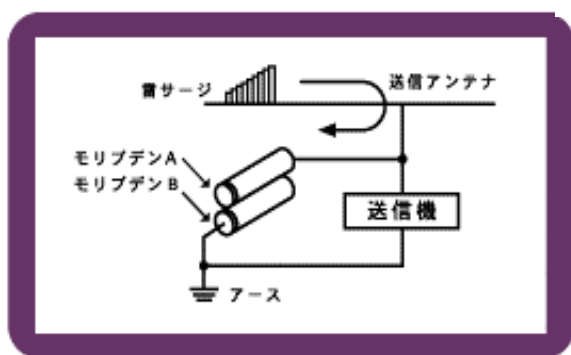
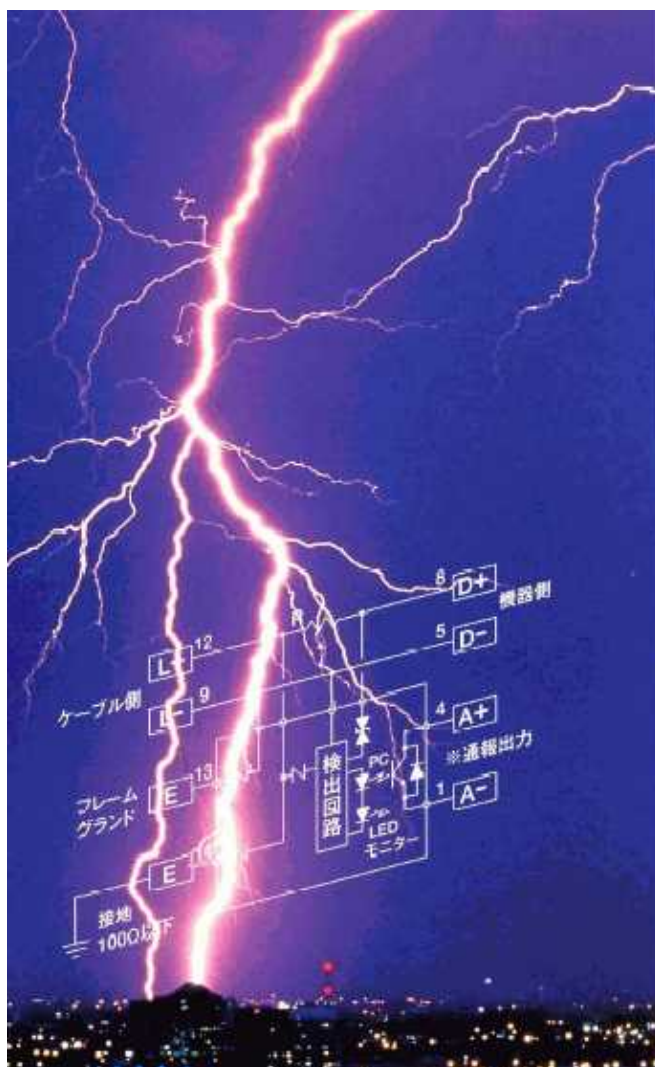
生産設備や情報機器を落雷から保護

『モリブデンアレスタ』

落雷の発生は大地間に電位差を生じさせます。夏は雷雲より、冬は大地よりエネルギーが放出され、電位の高い方から低い方に流れて電源回路・電話回線・通信機器などの電子機器を破壊する恐れがあります。静電容量が大きく、雷と同族関係の信号で吸収し放電遅れの大きい特性を持つ従来型アレスタは、役に立ちません。

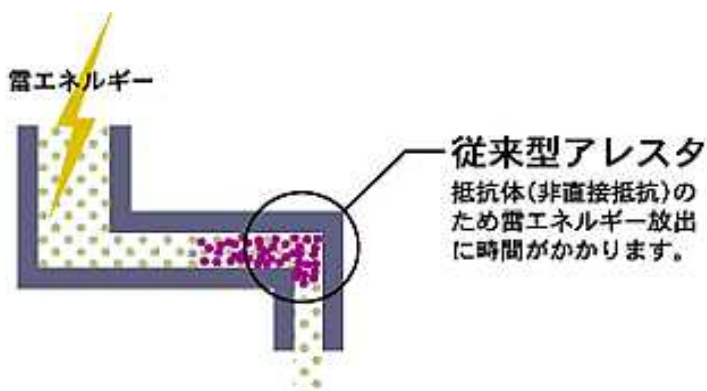
モリブデンアレスタは、次のような特長を持っていますので、雷害対策に非常に有効です：

- 300V以下の低電圧で動作しますので、アンテナ回路のような弱電回路を保護できます
- 静電容量が小さく、高周波での損失が小さい
- 大電流の直撃雷により電極が溶着する短絡事故を起こさない
- 繰り返し短時間で機能復帰します

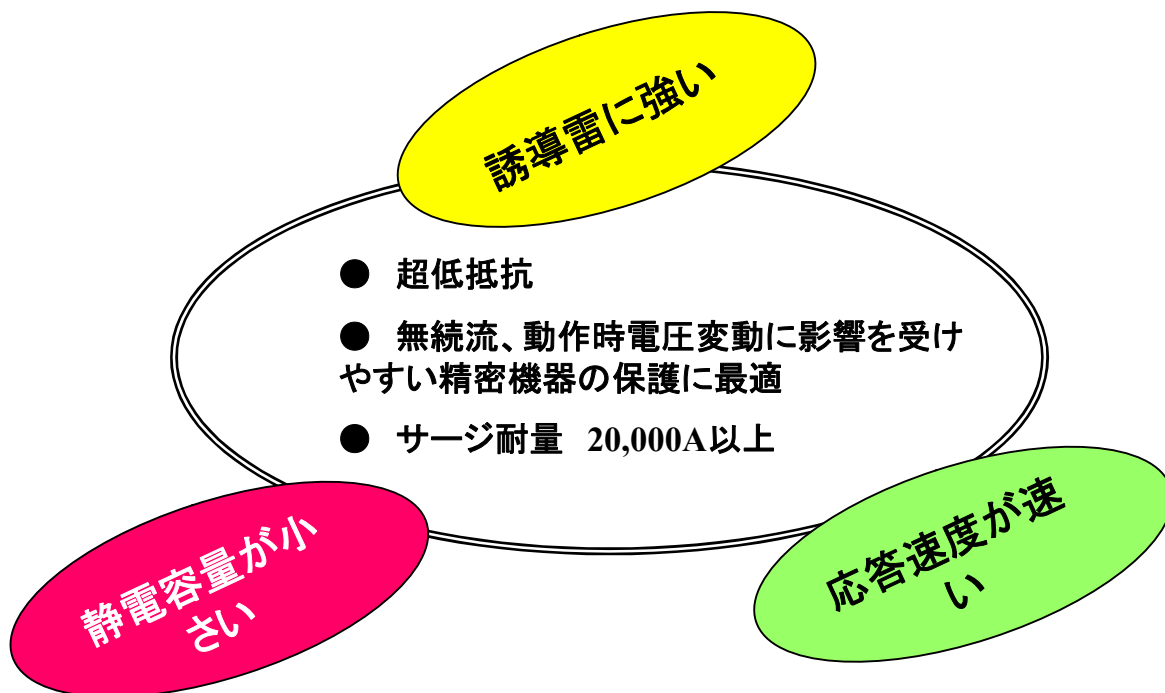


【動作原理】

モリブデンの電極は、接触点の表面皮膜 MoO_2 によって絶縁が維持されています。雷サージ電圧が商用電圧の2倍以上に上昇した時点で皮膜を破壊し、アースに逃がします。皮膜が破壊すると金属面が露出します。この接触面の周囲は酸素で充満しているので、表面の欠損は短時間で酸化し絶縁状態に戻ります。このため続流はほぼ皆無となり、無続流避雷器として機能します。



モリブデンアレスタ NRシリーズ/VMシリーズ



【従来アレスタとの性能比較】

メーカー		モリブデンアレスタ(NR/VMシリーズ)	A社
項目/種類		モリブデン式 電源用避雷器	酸化亜鉛式 電源用避雷器
応答速度		0.004us以下	0.1us以下
漏洩電流	線間	なし(但し、表示灯に約2mADC使用)	1mA以下(300VDCにて)
	大地間	1uA以下(300VDCにて)	1mA以下(300VDCにて)
放電開始電圧	線間	なし(高速応答につき不要)	410VDC
	大地間	700~1,400VDC	410VDC
定格電圧	線間	240VAC	200/220V, 30A
制限電圧	大地間	0.004usで完全に動作し、続流を遮断	700VDC以下(1.2*50us)
放電耐量		20,000A以下(8*20us)	10,000A以下(8*20us)
周囲温度		-5~60℃	-5~55℃
備考(特長と効果)		① 直撃雷の誘導サージに強い	① 直撃雷の誘導サージに弱い
		サージ耐量が極めて大きい	サージ耐量が小さい
		並列取付け方	直列取付け方
		② 応答速度が速い	② 応答速度が遅い
		半導体保護に適している	半導体保護に不利
		③ 放電時超低抵抗値となる(約ゼロΩ)	③ 放電時の抵抗値大きい
		雷エネルギーを一瞬にて放出	雷エネルギーの放出が遅く機器の損傷の可能性が高い
		④ 無続流	④ 続流あり
		動作時電圧変動に影響を受け易い	
		精密機器の保護に最適	
	⑤ 保守が簡単	⑤ 保守が不便	
	ランプ確認にて判断できる	定期的に性能確認が必要	
	⑥ 経年変化なし	⑥ 経年変化あり	

製造・開発元

ダイナフレックス株式会社

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町 3-5-4 ヨシエビル

Tel: 03-3661-2333 Fax: 03-3661-2338

www.dynaflex.co.jp

sales@dynaflex.co.jp